

令和5年度 延岡工業高等学校 学校評価

令和6年3月13日

1 学校経営方針

- 1 社会的・職業的に自立し、自ら学び続け、他者と協力し、生き抜く力を身につけた生徒の育成をめざし、学力および体力の向上、キャリア教育および専門教育の充実に向けた教育を推進する。
- 2 工都延岡の発展に寄与していくために、地域と連携した教育を推進する。

2 学校教育目標

- 工業や生活産業工業や生活産業の各分野における知識や技術を身につけさせ、地域や社会の発展に貢献できる人材を育成する。
- 資格取得や体験的な学習活動等を通して、確かな専門力と実践力を育成する。
- 立志・勉励・創造の精神や職業人として必要な豊かな人間性を育成する。
- 主体的に考え責任をもって行動し、変化の激しい社会を粘り強く生き抜く力を育成する。
- 部活動や生徒会活動、ボランティア活動等を通して、多様性を受入れ他者と協働できる力を育成する。

3 学校目標（基本方針）

4段階評価（4：期待以上、3：ほぼ期待どおり、2：やや期待を下回る、1：改善を要する）

学校目標（基本方針）	手 段	ゴールイメージ	学校自己評価		学校関係者評価	
■目標（1） 普通教科および専門教科指導の充実	①授業公開を積極的に行い、学校全体として授業力向上とICT利活用の取り組みを推進する。 ②ジュニアマイスター優秀校受賞に向けた資格・検定指導を推進する。 ③基礎力診断テストや工業基礎学力テストなど学力を客観的に把握できるツールを生かし、授業改善に取り組む。	○社会人として必要な基礎学力を身につけている。	(3.0)	(3.1)	(2.8)	(3.2)
		○資格試験や検定試験に挑戦し合格する。	(3.1)		(3.2)	
		○思考力・判断力・表現力を含めた確かな学力を身につけている。	(3.0)		(3.2)	
■目標（2） キャリア教育の推進および課題解決能力の伸長	①生徒の実態を把握するとともに、キャリアパスポートを活用し、発達段階に応じた効果的支援を行う。 ②専門教育の仕上げとして、生徒が主体的に課題研究に取り組めるよう支援する。	○高い職業意識を有し、社会人としての資質を身につけている。	(3.0)	(3.0)	(3.0)	(3.0)
		○主体的に課題を解決する力を身につけている。	(3.0)		(2.8)	
■目標（3） 部活動および生徒会活動の振興	①部活動の加入率を高めると同時に教員の指導力向上に努める。 ②生徒会を活性化し、能動的な委員会活動に取り組む。	○心技体のバランスとれたたくましさを身につけている。	(3.2)	(3.2)	(3.0)	(3.0)
		○主体性・多様性・協働性を身につけている。	(3.2)		(3.4)	
■目標（4） 地域と連携した教育の推進	①マイスターハイスクール指定指定最終年度として、地域との連携を強力に推し進め、人材の育成を図る。 ②生徒、保護者、教員を対象とした地元企業理解に取り組む。	○次年度に向けたマイスターハイスクールシステムを構築する。地域貢献に対する志が醸成される。	(3.0)	(3.1)	(3.4)	(3.0)
		○地元の魅力ある企業や優れた人材に対する知見が深まる。	(3.2)		(2.8)	
■目標（5） 働き方改革の推進	①行事や校務の見直しを進め、効率的な運営を目指す。 ②リフレッシュデーの定着を進めるなど働き方改革に対する意識を高める。	○業務分担が明確になり、職員間の信頼関係が強化される。	(3.0)	(3.0)	(3.6)	(3.0)
		○主体的に学ぶ生徒が増加し、学校の価値がさらに高まる。	(3.0)		(3.0)	